

令和元年5月開催 第2回福部地域振興会議議事概要

日時 令和元年5月22日(水) 9:00～10:35
会場 福部町コミュニティセンター2階会議室
出席委員 南部敏、上山弘子、坪内悟、宇山英俊、小谷孝文、岸本正枝、濱田香、西尾祥幸
谷岡陽一、加藤美幸、中川玄洋(順不同敬称略)
出席者 とっとりふるさと元気塾 藤原氏
事務局 平戸支所長、大島副支所長兼地域振興課長、森産業建設課長、湯谷市民福祉課長、
河本地域振興課課長補佐

1 開会

2 議題 ※進行上の都合で、議題の1と2を入れ替え。

(1) とっとりふるさと元気塾の取り組みについて(資料2)

とっとりふるさと元気塾の藤原氏((同)コミュニティデザイン工房代表)より元気塾の概要や地域活性化事例などについて説明。

【意見】

会長: 福部町の北部は砂丘、ラッキョウや梨栽培が盛んだが、南部地区は特にない。支所周辺の中心部の発展があれば、南部地区も補えると思う。そのためには、まず福部駅を活用して活性化できればと考えている。

委員A: 地域の活性化を行うには、主となる人が必要。人材の発掘や人材づくりがカギになると思う。

会長: 福部駅の活性化には駅前地区の協力が必要だが、駅前地区だけでは難しいと思うので町内全域の方で話をする機会を作りたい。

委員B: 駅前地区には「有志の会(15人程度)」があり、地区の活性化についての話も出たりする。地区の将来について危機感を抱いているメンバーもいる。区長もメンバー。

会長: 駅前の有志の会を中心に話を進めていくのが早いと思う。

【結論】

駅前地区有志の会、藤原氏、支所で元気塾を活用した講座やワークショップ開催の可能性について協議する。

(2) 福部町まちづくり構想実施計画(案)について(資料1)

【説明】

事務局: 2月の地域振興会議で実施計画(素案)を見てもらったが、再度見直しを行った。実施主体がまちづくり協議会や若手らっきょう生産者もあり、当委員会の委員がそれらの団体の役を兼ねている方もあるので、各団体の目線でも意見を言っていたきたい。

【意見】

委員C: 全56項目中、今年度は26項目に取り組む計画となっている。当会で内容を練ったりしていると、実際に取り組み開始ができるのが年度の後半になると思われるが、今年度26項目は多すぎるのではないか。

事務局: 再度、取り組み年度の見直しを行う。

委員D: このたび麒麟獅子が日本遺産に認定された。基本計画には入っていないが、可能なら実施計画に盛り込めないか。また、岩美や国府とも自転車ツーリズムに取り組んでいるので、それも事業に追加できないか。

- 事務局：麒麟獅子の日本遺産認定は直近発表されたので、来年度に向け事業化を検討したい。自転車はすごい！ライドやトライアスロンを開催しており、3～4回実施し軌道に乗ってきたため事業には載せていない。状況を見て今後事業計画に載せるか検討する。
- 委員E：空き家対策として、砂丘にお試し住宅を作っているが、利用状況はどうか。また、国府地域振興会議とも意見交換会をする計画になっているが、みのりロード（岩美～福部～国府）を活用した事業や耕作放棄地について話をしたらと思うがいかがか。
- 事務局：お試し住宅の稼働率は、H29年度が約50%、H30年度が約30%。稼働率が下がったのは、H29年度でお試し住宅を利用後に移住した人に奨励金を交付する事業を廃止したことによると考えられる。また、今年度、国府地域振興会議と意見交換会を予定しているが、協議内容等は事務局で案を作成し、今後の会議に提案させていただく。
- 会長：福部駅で下車した外国人が、支所に立ち寄り砂丘への行き方を聞くことがあると聞くが、支所がレンタサイクルをしてはどうか。
- 事務局：サイクリングターミナルがレンタサイクルをやっている。支所がレンタサイクルを行うには予算化する必要がある。支所が行うかも含め、今後整理が必要。
- 委員F：らっちゃんバスを観光分野で活用検討することは、事業計画に入っていないのか。
- 事務局：入れている。今は福祉的な要素が強いので、バスの運行を社協に委託している。砂丘に走らせることになると、観光的な要素が強くなるので社協に委託することが難しいと思われる。事業を継承してくれる団体を見つけないと、バスの運行継続が困難になる。3年間で一定の方向を示したい。
- 佐治町ではNPO法人を立ち上げて、バス運行を委託するように聞いている。また、空き家対策も組織や団体の立ち上げが必要。
- 会長：NPO法人を立ち上げて、採算が合わず止める団体が多いと聞く。
- 事務局：大和地区ではまちづくり協議会がバス運行を行っている。福部でもまち協を含めてどの団体をお願いするのか研究が必要。補助金の活用も模索しながら財源を確保し、持続可能な事業となるよう研究していきたい。
- 委員G：南部地域の観光資源として、南田に壮大なスケールの石切り場がある。江戸時代から採石しており、鳥取城の石垣の一部や国府町奥谷の池田家墓所の墓標を囲む玉石垣すべてに使用されている。
- 事務局：現時点で南田の石切り場の活用について実施計画に入れていないが、スタンプラリー（仮）のような周遊できる事業を検討することとしており、ルートの一つとして検討したい。
- 委員H：多様な事業を進めていくことになるが、やる人が重複すると思う。福部町内の各種団体や人のリスト化をした方が、事業を誰に頼めばよいかわかりやすい。
- 事務局：観光協会が観光ルートを作る際、団体をリストアップしたことがあるが、駅前地区の有志の会のような小さな団体まではリスト化していない。事務局で作業を進めていきたい。

3 その他

(1) 地域づくり人材セミナーの案内

事務局：地域の交通問題解決のための「地域づくり人材セミナー（6/18）」が開催されるので、可能な方は参加していただきたい。

(2) 第二回鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）「南北線」ヒアリングについて

事務局：支所に対して南北線のアンケート依頼があった。地域振興会議の意見も反映したいので、意見を伺う。⇒特に意見がなかったので、地域振興課で回答することとした。

以上